

2 漁業集落排水事業經營戰略（概要版）

大月町漁業集落排水事業経営戦略【概要版】

1. 事業概要

事業名：大月町漁業集落排水事業 経営戦略計画期間：令和7年度～令和16年度(10年間)
供用開始年度：昭和62年度
処理区域内人口密度：4.20人／ha（処理区域内人口 227人、処理区域面積 54ha 令和5年度実績）
処理区数：1 処理区
処理場数：1 処理場

2. 経営状況

- 令和6年度から地方公営企業法を適用し運営・管理しています。
- 令和6年度決算見込みにおける主な経営指標は次のとおりです。
- 経常収支比率：115%（令和6年度決算見込み）
- 経費回収率：30.0%（令和6年度決算見込み）
- 水洗化率：68.2%（令和6年度決算見込み）
- 企業債残高：33.5百万円（令和6年度決算見込み）

3. 将来の事業環境

（1）処理区域内人口等

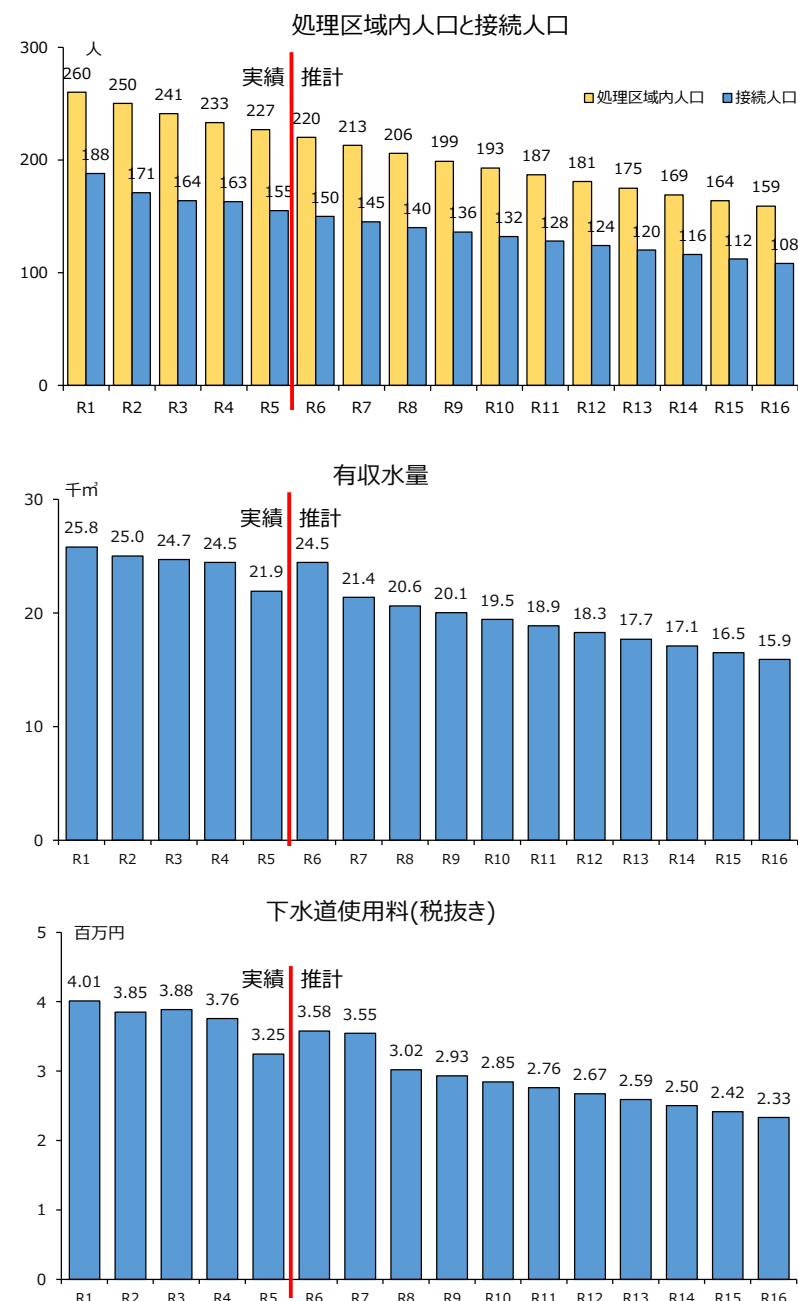
- 計画期間末の令和16年度には、少子高齢化等の影響により、令和5年度実績から処理区域内人口は70%程度に減少し、同様に接続人口も減少する見込みです。
- 処理区域内人口＝前年度処理区域内人口×減少率(令和3年度～5年度の平均)

（2）有収水量

- 計画期間末の令和16年度には、接続人口の減少に伴い、令和5年度実績の73%程度に減少する見込みです。
- 有収水量＝接続人口×1人当たりの有収水量(令和7年度予算)

（3）料金収入

- 計画期間末の令和16年度には、有収水量の減少に伴い、令和5年度実績の72%程度に減少する見込みです。
- 使用料＝有収水量×有収水量1㎡当たり使用料(令和7年度予算)

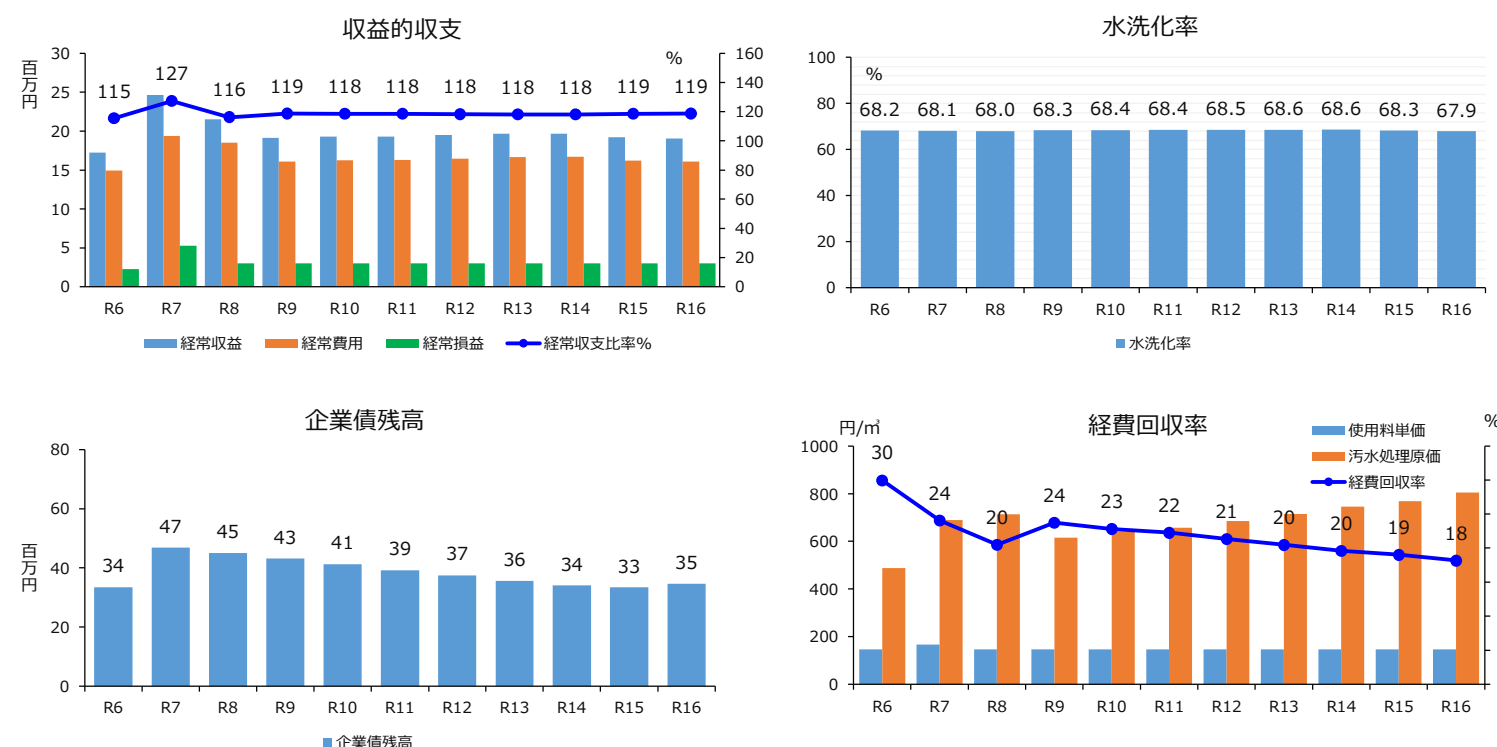


4. 経営の基本方針

- 漁業集落排水事業は、公営企業として水道事業と同様に利用者からの料金によって賄う事業です。水洗化率は、近年横ばい状態にあり、令和5年度末時点で68.3%となっています。今後とも、漁業集落排水施設への加入促進を図ります。
- 少子高齢化の進行に伴う人口減少などにより使用料の減収が想定される中、施設・設備の老朽化による修繕費用等の増加が見込まれ、漁業集落排水事業を取り巻く経営環境は大変厳しくなることが予想されます。
- このため、健全な経営を行っていくためには、コスト縮減を合理的に進めていく必要があります。
- また、経営環境の様々な変化をモニタリングし、今後の料金改定の必要性についても継続的に検討を続け、財源の確保を図っていきます。

5. 投資財政計画

- ＜投資に関する目標＞ 計画期間 令和16年度末における目標
- 水洗化率：70%以上を目指します。（R5年度68%）
- ＜投資の目標に関する考え方＞
- 処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標であり、水洗化率向上のための普及啓発を図ります。
- ＜財源に関する目標＞
- 経常収支比率：100%以上を目指します。
- ＜財源の目標に関する考え方＞
- 経常収支比率は、当該年度の経常収益で維持管理費等の経常費用をどの程度賄えているかを示す指標であり、健全経営を続けていくために単年度収支の黒字化を目指します。



6. 今後の検討予定等

- 将来にわたって安定的に事業を継続していくため、PDCAサイクルの考えに基づき、投資・財政計画の達成状況について毎年度進捗管理を実施し、計画と実績の乖離を検証・対応していきます。
- また、使用料金の変更や民間活力の活用等により、収支計画の変更が必要となる場合においては、本戦略を見直すほか、概ね5年ごとに総合的な検証を行ない、さらなる現状分析や社会状況の変化などを考慮し、本戦略を更新します。